

### 3 地域防災力の発展のためのしくみづくり

#### 1 緊急地震速報配信事業の事業化への取組み

小松幹雄・正木和明

##### 1. Ai－SYSTEM事業化の経緯

Ai－SYSTEM事業化構想の基本は、文部科学省「私立大学学術研究高度化推進事業（産学連携研究推進事業）」の目的に示される下記課題、「大学の研究成果の社会還元」「地場産業の活性化」「ベンチャー企業との有機的な連携」を受け、愛知工業大学地域防災研究センターの研究テーマである企業防災力向上技術開発に関する研究成果の社会還元課題として、気象庁緊急地震速報を活用した産学連携の研究推進事業計画から出発した。具体的な事業化経緯は、平成16年4月の文部科学省による産学連携研究事業としての採択通知に始まり、地元企業からの協力・技術支援により急激な事業推進を果たし、現在に至っている。

以下に、事業化経緯、Ai－SYSTEMの発展経過を示す。

##### 2. 産学連携研究推進事業

Ai－SYSTEMの事業化経緯は以下にまとめられる。

(H16.2 気象庁緊急地震速報試験配信)

H16.4 文部科学省より産学連携研究推進事業の採択通知(5カ年事業の1年目)

地震防災コンソシアム結成(清水建設株式会社技術研究所および名古屋支店、応用地震計測株式会社、株式会社ファルコン、名古屋大学災害対策室、愛知工業大学大学院工学研究科)

H16.9 企業への地震計・防災端末設置開始

H17.3 愛知工業大学地域防災研究センター完成(地震計、端末設置完了)

H17.11 企業への配信開始(平成17年度18法人28事業所)

(H18.8 気象庁特定事業者向け配信)

H18.9 文部科学省への中間報告

H18.12 気象庁との共同実験による避難訓練実施

H18.12 地域防災のための企業連携組織としてあいぼう会発足

H19.4 配信先新規募集(5カ年事業の4年目)

(H19.10 気象庁一般向け配信)

H20.4 5カ年事業の5年目にあたり、事業継続を目的としたAi－システム管理・配信のための受け皿として、株式会社エーアイシステムサービスを設立

H20.5 現在 28法人49地点(事業所)に配信中

##### 3. 地域防災コンソシアムの発展と現状

###### 1). Ai－SYSTEM開発経緯

これまでにコンソシアムメンバーにより開発され、稼働中のシステムは次の3システムである。今後、これら3システムを基本として、顧客からの要請や技術進歩を踏まえ暫時改良を継続していく予定である。

###### a) 単一拠点解析型地震情報配信システム

特長：愛知工業大学地域防災センターに設置されたメインシステム(気象庁特定事業者向け緊急地震速報受信、AIR型地震計ネットでのリアルタイム地震情報収集・分析、端末への地震速報配信)と各端末と

の情報の直接交換・分析を行うとともに、各事業所内の放送設備などを通して従業員避難、二次災害防止に効果を発揮。(H20.5 現在 26 法人 38 事業所に適用)

b) 多地点解析型地震情報配信システム

特長：愛知工業大学地域防災センターに設置されたメインシステムから各企業への配信は単一拠点型地震情報配信システムと共通であるが、各企業内部に設置されたサーバを利用して企業内の複数地点ごとに予測震度・到達猶予時間等を解析し、インターネットを通して各拠点に情報を配信することが出来る。最大 10 拠点まで配信可能。(H20.5 現在 1 法人 4 事業所に適用)

c) グループ型地震情報配信システム

特長：愛知工業大学地域防災センターに設置されたメインシステムと直結したサーバにより、グループ内の登録地点の予測震度・到達猶予時間を解析しインターネットを通して各拠点に情報を配信する。最大 30 拠点まで配信可能。(H20.5 現在 1 法人 7 事業所に適用)

2) A i - S Y S T E M の運用現状

コンソシアムの地域協力組織として、平成 17 年 11 月から下記 18 法人の協力を得て、A i - S Y S T E M の運用プロジェクトを開始することが出来た。この時点では前述した、「単一拠点解析型地震情報配信システム」の運用となっている。

この後、企業防災の重要性を認識される企業から数多くの問い合わせがあり、A i - S Y S T E M 防災端末設置数も増加した。平成 20 年 5 月現在、28 企業 49 地点で A i - S Y S T E M 防災端末が設置されている。

4. 事業化の現状と今後の計画

事業化の経緯でも示したが、文部科学省の産学連携研究推進事業が 5 年目となり本年度で終了することを受け、A i - S Y S T E M による情報配信事業と維持管理を引き継ぐことを主要目的として、新事業会社である(株) エーアイシステムサービスを平成 20 年 4 月に設立した。

[(株) エーアイシステムサービスの概要]

- ・社名：株式会社エーアイシステムサービス
- ・資本金：600 万円
- ・本社場所：愛知工業大学内
- ・株主：本事業関係者（個人を基本とする）
- ・役員 代表取締役社長 正木和明、西村雄一郎・小松幹雄（3 名）
- ・専任社員を雇用（設立時 1 名）
- ・会社運営

A i - S Y S T E M 利用企業からの利用料とコンサルティング業務等による資金

(株) エーアイシステムサービス設立の主要な目的は以下に示される。

- 1) これまで愛知工業大学地域防災研究センター、および地震防災コンソシアムにより構築・発展されてきた A i - S Y S T E M を利用した緊急地震速報を中心とした情報提供、企業防災・アプリケーションサービスを実行する。
- 2) 地域防災に関する産学官連携した研究基盤の窓口となる。
- 3) 将来的に調査コンサルタント事業や防災教育支援事業を実施し、事業の多角化を目指す。

今後は、これら主要目的を継続・達成するため、A i - S Y S T E M 設置企業との連携を続けると共に、あいぼう会窓口として産学官連携を進め地域防災発展に対して主体的に貢献していく。さらに、知的財産を活用した地震防災に関わる新規分野（企業防災支援 GIS、携帯電話災害情報ツール等）の展開も実施していく。